

履修方法

保健医療学研究科【博士後期課程】

専攻・分野および教育・研究内容

保健医療学研究科保健医療学専攻には、鍼灸学分野と柔道整復学分野を設けています。

■保健医療学国際関係特講

(共通科目1年次前期・必修、2単位・30時間)

保健医療学研究に係る必修科目として1年前期にオムニバス形式で講義・演習を行う。

■保健医療学研究特講

(共通科目1年次前期・必修、2単位・30時間)

保健医療学研究に係る必修科目として1年前期にオムニバス形式で講義・演習を行う。

■鍼灸学分野

- 1) 鍼灸学特別研究1 (1年次通年・選択必修、4単位・60時間)
- 2) 鍼灸学特別研究2 (2年次通年・選択必修、4単位・60時間)
- 3) 鍼灸学特別研究3 (3年次通年・選択必修、4単位・60時間)

から構成される。

特別研究1～3はそれぞれを1単位・15時間を基本として、博士論文作成のための講義・演習・実習は演習形式を主体として、選択した研究の内容に沿って適宜行う。特別研究については主として修士課程での研究を基盤として、学生の希望、能力、経験、性格、興味、将来性などを十分考慮し学生と綿密に相談して決定する。博士後期課程は本学博士前期課程との連続性をもつが、医学研究は基礎研究と臨床研究が融合的に多様化・複雑化してきており、特別研究の指導に当たっては、指導教員の専門にこだわらず、基礎研究と臨床研究の両者の指導が受けられるよう、横断的な体制を整えて指導を行う。修業年限は3年とする。

■柔道整復学分野

- 1) 柔道整復学特別研究1 (1年次通年・選択必修、4単位・60時間)
- 2) 柔道整復学特別研究2 (2年次通年・選択必修、4単位・60時間)
- 3) 柔道整復学特別研究3 (3年次通年・選択必修、4単位・60時間)

から構成される。

特別研究1～3はそれぞれを1単位・15時間を基本として、博士論文作成のための講義・演習・実習は演習形式を主体として研究テーマの内容に沿って適宜行う。特別研究のテーマについては主として修士課程での研究テーマを基盤として、学生の希望、能力、経験、性格、興味、将来性などを十分考慮し学生と綿密に相談して決定する。博士後期課程は本学博士前期課程との連続性をもつが、柔道整復学研究は基礎研究と臨床研究が融合的に多様化・複雑化してきており、特別研究の指導に当たっては、指導教員の指導の枠にこだわらず、基礎研究と臨床研究の両者からの研究指導や助言ができるような横断的な指導体制を整え指導を行う。修業年限は3年とする。

■授業科目一覧

区分	授業科目	開講年次	単位数	
			必修	選択
共通科目	保健医療学国際関係特講	1年次前期	2	
	保健医療学研究特講	1年次前期	2	
特別研究	鍼灸学分野	鍼灸学特別研究1	1年次通年	4
		鍼灸学特別研究2	2年次通年	4
		鍼灸学特別研究3	3年次通年	4
	柔道整復学分野	柔道整復学特別研究1	1年次通年	4
		柔道整復学特別研究2	2年次通年	4
		柔道整復学特別研究3	3年次通年	4

修業年限・修了要件および授与される学位等

■修業年限 3年

■修了要件および授与される学位等

【単位の修得方法・修了要件】

共通科目で4単位(必修)、特別研究12単位(鍼灸学分野は、鍼灸学特別研究1～3を選択、柔道整復学分野は、柔道整復学特別研究1～3を選択)合計16単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること。

【学位】

修了要件を満たした者に対して、博士(鍼灸学)、または博士(柔道整復学)の学位を授与する。

特別研究テーマおよび指導教員

保健医療学研究科【博士後期課程】

分野	特別研究テーマ	指導教員
鍼灸学	疼痛性疾患並びに循環障害に対する鍼灸治療の基礎的臨床的研究	坂井 友実 教授 ●博士(鍼灸学) ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	鍼灸刺激と体性神経機能に関する基礎研究・鍼灸の研究方法に関する基礎研究	高倉 伸有 教授 ●博士(医学) ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	消化器系疾患の疼痛に対する鍼灸治療の鎮痛効果に関する基礎的研究	田中 滋城 教授 ●医師 ●医学博士 ●日本内科学会認定内科医 ●日本医師会認定産業医 ●日本消化器病学会専門医
	女性および高齢者に対する鍼灸治療の基礎的臨床的研究	安野 富美子 教授 ●博士(理学) ●はり師・きゅう師
	アスレティックトレーニングについての社会科学研究	泉 秀幸 教授 ●博士(スポーツ科学) ●Doctor of Athletic Training (DAT) ●NATA-BOC公認アスレティックトレーナー ●(公認)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	肩関節疾患に対する鍼灸治療の基礎的・臨床的研究 運動器疾患に対する鍼灸治療の基礎的・臨床的研究	水出 靖 教授 ●博士(スポーツ医学) ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師 ●特別支援学校教諭一種(理療) ●介護支援専門員
	臨床神経生理学的手法を用いた鍼灸の作用機序および治療効果に関する基礎的臨床的研究	木村 友昭 教授 ●博士(医学) ●はり師・きゅう師
	鍼灸刺激と体性神経機能に関する基礎研究・鍼灸の研究方法に関する基礎研究	矢嵐 裕義 教授 ●博士(医学) ●柔道整復師 ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	鍼灸領域の感染対策に関する研究ならびに低周波鍼通電療法に関する臨床的研究	菅原 正秋 准教授 ●博士(感染制御学) ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	スポーツ医科学における鍼灸に関する研究	藤本 英樹 准教授 ●博士(スポーツ医学) ●はり師・きゅう師
柔道整復学	柔道整復術の科学的検証に関する臨床研究 －超音波観察装置による組織同定に関する研究－	成瀬 秀夫 教授 ●博士(医学) ●柔道整復師 ●はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師
	柔道整復学の学問的確立のための基礎研究 －西洋医学的蘇生法から見た柔道の活法に関する研究－	鈴木 秀一 教授 ●医師 ●博士(医学) ●外科専門医 ●日本呼吸器学会指導医・専門医 ●日本呼吸器内視鏡学会指導医・専門医
	運動器の健康に関する研究(外傷・障害の発生メカニズムとそれにもとづく外傷・障害予防に関する研究、有運動器疾患者に適したトレーニングに関する研究ほか)	入江 一憲 教授 ●医師 ●博士(医学) ●日本整形外科学会専門医 ●(公認)日本スポーツ協会公認スポーツドクター
	柔道整復学の学問的確立のための基礎研究 －間葉系幹細胞の骨、軟骨、筋への分化に関する分子細胞生物学的研究－	寺井 政憲 教授 ●博士(歯学) ●歯科医師
	スポーツ科学分野におけるバイオメカニクス、スポーツ障害および予防科学を中心とした柔道整復学のエビデンス確立に寄与する研究	櫻井 敬晋 教授 ●博士(スポーツ科学) ●柔道整復師